

杉並区立高井戸小学校令和7年度 学校経営方針【概要版】2025.4

「人間としての尊厳を尊重し合い、生命を大切にするとともに、多様性やインクルーシブの考えを重視しながら一人ひとりの個性と可能性を伸ばす。自ら考え、判断し、表現し、実践していく能力・態度を養い、社会を形成する一員としての自覚を高め、生涯にわたり自分らしく学び続ける能力の基礎を培う。」

**【関係法規等】**

- ・日本国憲法・教育基本法
- ・学校教育法・学習指導要領
- ・都の教育目標・管理規則
- ・杉並区基本構想

**【杉並区教育ビジョン2022】**

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」

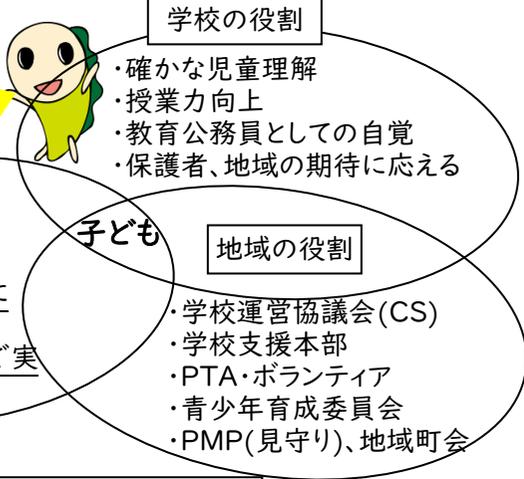
- ◇学び合い、信頼をつくり、共に生きる
- ◇ちがいを認め合い、自分らしく生きる
- ◇誰もが社会の創り手として生きる

創立150周年を迎え、「150年の歴史をつなぎ、未来にはばたく学校」として、未来に夢と希望をもち活躍できる子どもたちを育てていく



《 教育目標 》

子どもを真ん中に3者が一体となった教育を行います。特に、いじめに対しては、絶対に許さない姿勢を貫きます。



I 教育目標と育てたい児童像

よく考えやりぬく子

【主体的・対話的に学ぶ児童】

今、求められる授業を進める学校

- ・確かな学力を育む。  
学習の基盤を作るため、学習におけるしつけや学び方を低学年から習得させる。知識・技能とともにすべての学習活動において思考力、判断力、表現力を身に付けさせる。
- ・学校生活全般において子どもが課題設定する場を多くし、その探究にあたり友達と主体的・協働的に取り組む活動を重視する。自ら考え行動、解決する力を身に付けさせる。

なかよく助けあう子

【心豊かで、友達を大切にする児童】

自他を尊重し笑顔のあふれる学校

- ・子どもは様々な人との関わりの中で育つ。学校の教師や友達、保護者との関わり、就学前、中学校を含めた異年齢交流、地域社会との共生を通して社会性や礼節を育てる。
- ・協働的な学習や活動において、話の聞き方や発表の仕方を身に付けさせ、一人ひとりの違いを受容し、自他のよさに気付き、認め合える子どもを育てる。

けんこうで明るい子

【心身共に健康な児童】

基本的な生活習慣を大切にする学校

- ・基本的な生活習慣を大切にし、学習活動や運動を通して一人ひとりが達成感を持ち、分かった、できた喜びが感じられ、夢や創造性をもてるように導く。
- ・だれとでも笑顔で挨拶ができるように挨拶を奨励する。
- ・特別支援教育やインクルーシブ教育を推進し一人ひとりの居場所がきちんと保証され、安心して過ごせる学級づくりをする。

II 教育目標達成のための基本方針

- ・児童が一人一台 TB を用い個別最適化・協同化・探究化の学習に生かす。
- ・高学年では、教科担任制を実施し、専門性を生かした指導を実施するとともに中学校へのスムーズな移行を図る。

- ・安心して自分のよさを発揮させるために個のよさを認め生かす指導とお互いが学び合い高め合う協働的な学習を充実させる。



- ・異年齢集団を生かした縦割り班活動を実践し、人と人との関わり方、思いやり、礼節の心を育て、連帯感や社会性を育む。関わりの中でお互いの違いやよさを受容、尊重し合う態度を養う。

- ・近隣保育園・幼稚園・子供園と交流を深め、就学前教育との円滑な接続を図る。本校と接続する中学校、関係小学校と連携し小中一貫教育を進める。



- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語科(活動)、特別活動、生活指導などを通して、なりたい自分に向けてあてをもたせ、達成させることで自己肯定感や自信につなげる。

- ・挨拶を奨励し、人との関わりやつながりのよさや価値を実感させる。
- ・インクルーシブを推進し、個の違い認め、かかわり合いながらよりよく生活する態度を身に付けさせる。